

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-216	高等学校	外国語科	英語コミュニケーション I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	C I 710	Crossroads English Communication I		

## 1. 編修の基本方針

教育基本法、学校教育法並びに学習指導要領に則って、外国語を学ぶことを通じて、豊かな人間性と創造性、自律性を備えた人間として、我が国の形成・発展に貢献できるとともに、国際社会の平和と発展に寄与できる人材を養うための教科書を目指し、下記のような点に配慮した。

- ◎国際社会の一員として幅広い知識と教養を身に付けるために、生徒にとって身近な話題から、社会的・国際的な視点につながるような題材を教材とした。
- ◎英語という言語を使って考えたり自分の意見を人に伝えたりするための言語活動をバランスよく取り入れた。
- ◎生徒が主体的、自律的な学習者となり、生涯にわたり外国語学習を続けられるために必要な英語の知識・技能や学習法のヒント等を言語活動やコラム等で示した。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Unit 1 From Another Point of View	異なる文化背景を持つ人から日本の文化や生活がどのように見えるかを理解することで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第5号)	pp. 12-25
Unit 2 It That True?	メディアとしてのインターネットの特質と、その情報を正しく活用するメディアリテラシーについて理解することで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことを目指した。(第2号)	pp. 28-41
Unit 3 Ocean Life	海洋環境や海洋資源の現状を知り、世界の海が抱える問題を理解してその解決策を考えることで、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指した。(第4号)	pp. 44-57
Supplementary Reading 1 Belgian Soccer Team	ベルギーの言語事情と異なる言語を使う人々にとっての外国語の役割を理解することで、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第5号)	pp. 58-63
Unit 4 With a Little Help	ボランティアや社会貢献の大切さを理解することで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第3号)	pp. 64-77
Unit 5 Living Longer and Better	長く健康に生きるためにはどのようなことが必要かを理解することで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指した。(第1号)	pp. 80-93

Unit 6 Beyond Borders	国境を越えた文化交流や支援活動について理解することで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第5号)	pp. 96-109
Supplementary Reading 2 The Mystery of the Lake	伝説の生き物の正体を探る科学研究について理解することで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指した。(第1号)	pp. 110-115
Unit 7 At a Station in London	難民と彼らを救った人々の行動について理解することで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第3号)	pp. 116-129
Supplementary Reading 3 Aretha Franklin: The Queen of Soul	アメリカの歌手の生涯と社会の動きなどとの関わりを理解することで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第3号)	pp. 132-137

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第51条に掲げられた目標を達成するため、実用的な英語運用能力の育成と、生涯にわたって学習を継続する自律的学習者育成を目指し、下記のような点に配慮した。

- ◎生徒の学習意欲を高めるため、学校生活や家庭生活に関連した身近なテーマの題材を多く取り入れた。
- ◎4技能5領域を統合した活動を工夫し、そのバランスのよい育成を目指した。
- ◎文法はコミュニケーションを支えるものという立場に立ち、実際に英語を使用する場面を多く設定した。
- ◎写真やイラスト、図表等を適切に使い、学びやすさへ配慮した。
- ◎英語で授業が進めやすいよう、指示文はすべて英語とした。
- ◎学習者個々の特性に配慮して、使用するフォントの一部にユニバーサルデザイン (UD) フォントを採用した。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-216	高等学校	外国語	英語コミュニケーション I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	C I 710	Crossroads English Communication I		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### (1) 4技能5領域を一体的に育成する。

- ・ 日常のおよび社会的な話題について、聞いたこと、読んだことの概要や要点、話し手や書き手の意図を把握することができるように、確認問題を充実させた。
- ・ 読んだことの内容を整理し、自分のことばで伝えることができるよう、リテリング（再話）やノートテイキングの活動を充実させた。
- ・ 聞いたり読んだりした内容やテーマについて、自分はどう考えるか・どう思うかを話し合う、発表する、書くなどの活動を充実させた。
- ・ Unit全体のテーマに関するトピックについて、調べて発表する活動を盛り込んだ。

### (2) 重要なテーマについて多様なインプットを与える。

- ・ 高校生に考えてほしい重要なテーマをトピックとして選び、多様で多角的な視点をもったインプットを与えるために、7つのUnitで2つずつのリスニング教材とリーディング教材を用意した。
- ・ 特に「聞くこと」を充実させるために、まとまった内容と分量のリスニング教材を用意した。

### (3) コミュニケーションを行う目的や場面、状況を意識させる。

- ・ 文法はコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、文法事項・文構造の解説や練習問題では、その形が使われる目的や場面、状況を理解させる工夫をした。
- ・ 話すことや書くことの言語活動において、コミュニケーションを行う目的や場面、状況を意識した活動を用意した。

### (4) 指導しやすく、学びやすい教科書。

- ・ 生徒の学習意欲を高めるため、生徒に身近な話題を多く取り上げ、そこから社会的な視点につながるよう工夫した。
- ・ Unit内のそれぞれの言語活動が有機的なつながりを持つよう工夫した。
- ・ 活動のステップを明示化し、具体例を示すなど、活動を行う上での支援を多く与える工夫をした。
- ・ 写真やイラストを多く配置し、視覚的な面からも内容理解が容易になるよう工夫した。
- ・ 二次元コード（以下、QRコード）から音声やフラッシュカード、外部資料などを利用することができ、主体的、自律的な学習が可能になるよう工夫した。

## ■各Unitの構成■

### (1) 導入ページ

- ・ Goals of This Unit : そのUnitでどのようなことを学び、どのようなことができるようになるのかを知る。
- ・ What do you think? : 写真を見ながら、今から学習するテーマに関わる問いについて考えて話し合う活動。
- ・ QRコードからテーマに関する外部資料を利用することができる。

### <Part 1>

#### (2) Listen Up 1

- ・ 短めの対話や発表などを聞いて、その概要や要点を把握する活動。
- ・ 内容を確認する設問は選択式とし、生徒の負担を軽減した。また、設問の意図がはっきりするよう、Gist（概要）・Detail（詳細）のアイコンを付した。
- ・ QRコードから音声を利用することができる。

#### (3) Passage 1

- ・ 約260～310 wordsの短い英文を読む活動。音読活動やリテリング活動につなげられるよう、文構造や語彙の負担が少なくなるよう配慮した。
- ・ 英文は現代の標準的な英語を基調とし、ほとんどの教材はネイティブ・スピーカーが書き下ろした。
- ・ ウェブサイト上の資料を読む、スピーチの原稿を読むなど、具体的な場面や状況を設定した。
- ・ Language Focusで取り上げる文法事項・文構造は「LF」マークで示した。
- ・ QRコードから音声を利用することができる。
- ・ Key Words : Passage 1の読解においてキーとなる語句を明示した。右ページに意味と使い方を確認する活動を用意した。
- ・ New Words & Phrases : Passage 1の新出単語と発音記号、重要フレーズをまとめた。新出単語はQRコードから音声とフラッシュカードを利用することができる。重要フレーズの例文は、巻末の「Phrases & Examples」に掲載した。
- ・ Comprehension 1 : Passage 1の概要や詳細、パラグラフの主題、文章から推測できることなどを確認する設問。生徒の負担を軽減するため選択式とし、設問の意図を明示するために、Gist（概要）・Detail（詳細）・Main idea（パラグラフの主題）・Inference（推測）のアイコンを付した。
- ・ Summary : Passage 1の内容を伝えるリテリング活動。ヒントとなる写真やキーワードを示した。
- ・ Express Yourself : Passage 1に関連するトピックについてペアやグループなどでやり取りをして、考えを伝え合う活動。

### <Part 2>

#### (4) Listen Up 2

- ・ まとまった長さの対話や発表などを聞いて、その概要や要点を把握する活動。
- ・ Pre-listeningとして、これから聞く内容に関する問いやキーワードを確認する設問を用意した。
- ・ 内容を確認するための選択式とキーワードを書き取る設問を用意した。また、設問の意図がはっきりするよう、Gist（概要）・Detail（詳細）のアイコンを付した。
- ・ QRコードから音声を利用することができる。

#### (5) Key Words

- ・ Passage 2のキーワードを確認しながらその内容を推測する活動。

#### (6) Passage 2

- ・ 約470～580語のまとまった長さの英文を読む活動。
- ・ 英文は現代の標準的な英語を基調とし、ほとんどの教材はネイティブ・スピーカーが書き下ろした。
- ・ プレゼンテーションの原稿を読む、インタビュー記事を読むなど、具体的な場面や状況を設定した。
- ・ Language Focusで取り上げる文法事項・文構造は「LF」マークで示した。

- ・QRコードから音声を利用することができる。
- ・傍注：Passage 2の新出単語と発音記号、重要フレーズを示した。新出単語はQRコードから音声とフラッシュカードを利用することができる。重要フレーズの例文は、巻末の「Phrases & Examples」に掲載した。
- ・Comprehension 2：Passage 2の概要や詳細、パラグラフの主題、文章から推測できることなどを確認する設問。設問の形式は、①True or False、②選択式、③Q&A、④キーワードの書き取り（ノートテイキング）、とバラエティを持たせた。選択式の問題については、設問の意図を明示するために、Gist（概要）・Detail（詳細）・Main idea（パラグラフの主題）・Inference（推測）のアイコンを付した。
- ・Activity：Passage 2の内容を踏まえながら、自分の感想や考えなどを伝える言語活動。具体的な使用場面を意識した活動を設定した。

## <まとめの活動>

### (7) Language Focus

- ・Passage 1とPassage 2に出てくる重要な文法事項・文構造について、その形・意味・使用場面を示し、例文を付した。
- ・その言語材料が使われる目的や場面を理解させるため、USEのアイコンで使用場面の解説をした。
- ・Quick Check：扱われた文法事項・文構造について、形や順序などを確認する設問。

### (8) Language Use

- ・Language Focusで扱った文法事項・文構造を確認するための設問。
- ・その言語材料が使われる目的や場面、状況を理解させるため、具体的な場面を設定して、それに対する応答を考える設問、対話の流れをつかんで応答する設問とした。

### (9) Vocabulary Review

- ・Passage 1とPassage 2に出てくる重要語句について、その意味を理解して英語での定義を確認する設問。

### (10) More Information（コラム）

- ・Unitで扱った題材をより深く理解するためのコラム。

### (11) Project

- ・全体のテーマに関するトピックについて、調べた情報をまとめ、自分の意見や感想を交えて発表する言語活動。
- ・QRコードから活動例と関連した外部資料を利用することができる。

## ■Unit以外の教材・資料等■

### (1) Warm-up Lesson

- ・新学期に使う導入教材として、4技能5領域をカバーした課題を用意した。
- ・QRコードからリスニング教材の音声を利用することができる。

### (2) Supplementary Reading

- ・約750～850語の読み物教材を3本用意した。
- ・Comprehension：内容を確認する設問は選択式とし、生徒の負担を軽減した。設問の意図を明示するために、Gist（概要）・Detail（詳細）・Inference（推測）のアイコンを付した。
- ・QRコードから本文の音声と新語の音声・フラッシュカードを利用することができる。

### (3) Sound Training

- ・英語の音声の聞き取りや発音に関する説明と練習問題。
- ・QRコードから例と練習問題の音声を利用することができる。

### (4) Study Skills

- ・英語の学習法に関するコラム。

### (5) Information Box

- ・Unitで扱った題材についての背景知識を深めるためのコラム。

## (6) Useful Expressions

- ・言語活動でよく使う表現を例文とともにまとめた。

## (7) Phrases & Examples

- ・Passage 1とPassage 2に出てきた重要フレーズをまとめ、その例文を付した。

## (8) Word List, Phrase List

- ・新語と重要フレーズのリスト。Word Listには小学校・中学校での既習語のリストも示した。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容										該当箇所 (ページ)	配当 時数
	(1)	(2)	(3)									
			①						②			
			ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ア	イ		
Warm-up Lesson	ア、ウ	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)		(ア)	(ア)、(イ)、 (ウ)、(オ)	10-11	1
Unit 1 From Another Point of View	ア、イ、ウ、 エ(ア)(イ)a, d, f, g	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ) (ウ)	(イ)、(ウ)、 (エ)、(オ)	12-25	13
Unit 2 It That True?	ア、イ、ウ、 エ(ア) (イ)b, d, f	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(イ)、(ウ)、 (エ)、(オ)	28-41	13
Unit 3 Ocean Life	ア、イ、ウ、 エ(ア) (イ)d, e, f, h	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ) (ウ)	(イ)、(ウ)、 (エ)、(オ)	44-57	13
Supplementary Reading 1 Belgian Soccer Team	ア、イ、ウ	ア	ウ		(イ)						58-63	2
Unit 4 With a Little Help	ア、イ、ウ、 エ(ア) (イ)d, f, g	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ) (ウ)	(イ)、(ウ)、 (エ)、(オ)	64-77	13
Unit 5 Living Longer and Better	ア、イ、ウ、 エ(ア)(イ)c, d, f	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(イ)、(ウ)、 (エ)、(オ)	80-93	13
Unit 6 Beyond Borders	ア、イ、ウ、 エ(ア) (イ)b, d, f, g	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(イ)、(ウ)、 (エ)、(オ)	96-109	13
Supplementary Reading 2 The Mystery of the Lake	ア、イ、ウ	ア	ウ		(イ)						110-115	3
Unit 7 At a Station in London	ア、イ、ウ、 エ(ア) (イ)d, e, f	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ) (ウ)	(イ)、(ウ)、 (エ)、(オ)	116-129	13
Supplementary Reading 3 Aretha Franklin: The Queen of Soul	ア、イ、ウ	ア	ウ		(イ)						132-137	3
Sound Training ①～⑤	ア										26, 42, 78, 94, 130	2.5
Study Skills ①～⑤	ア	ア、 イ、ウ									27, 43, 79, 95, 131	2.5
Information Box											138-144	
Useful Expressions	ウ									(ア)、(イ)、 (ウ)、(エ)、 (オ)	145-147	
Phrases & Examples	ウ										148-152	

Word List	ウ										153-160	
Phrase List	ウ										160	
											計	105